

備前市事務事業評価シート

(平成23年度事業)

事業の概要		事業開始年度 平成8年度～		根拠法令・例規等	
総合計画	大項目 基本目標	01	安全で快適に暮らせるまちづくり	問 担当課(室)	都市整備課
	中項目 基本施策	11	生活しやすいまちづくり		
	小項目 施策	01	道路		
事務事業名		01	国道等整備促進事業	合 職・氏名	管理係長・坂本基道
				先 電話	0869-64-1833
				このシート作成に要した時間 2.0 時間	

事業の目的		Plan	
対象 (誰・何に対して)	国土交通省、岡山県、地域住民		
目的 (何のために)	国道等を整備することにより、地域の活性化を図ることを目的とする。		
事業の意図する成果 (どのような状態にしたいのか)	国道等の整備により、地域の安全、活性化を図りたい。		

事業の実績				Do	
目的を達成するため実施した事業	細事業名	事業の説明	優先度		
	国道2号(岡山県東部)整備促進期成会負担金	国道整備のための負担金			
	国道2号(岡山県東部)整備促進期成会事務	国道整備のための要望事務			
	国道2号(岡山県東部)整備促進要望事務	"			
	国道374号整備促進期成会会費	国道整備のための負担金			
	国道374号整備促進要望事務	国道整備のための要望事務			
	国道250号整備要望事務	"			
	道路整備促進同盟会・全国協議会要望事務	国道整備のための要望事務			
	(社)日本道路協会負担金	"			
	中国国道協会会費	"			
	中国横断自動車道建設促進岡山県期成会会費	"			

決算額	事業費等		単位	平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度実績
	直接事業費	千円		342	398	179
	必要人員人件費	千円	0.10人	985	992	804
	事業費	千円		1,327	1,390	983
	事業支出金	千円				
	受益者負担					
繰入金						
市債						
その他( )						
一般財源		1,327	1,390	983		
受益者負担比率	%	-	-	-		

結果指標	結果指標名		単位	平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度実績
	国道2号(岡山県東部)整備促進要望		説明			
	結果指標量	件		5	3	3
	対前年比	%		-	60.0%	100.0%
	活動コスト	円		200,000	200,000	0
単位当たりコスト			40,000	66,667	0	

事業の成果						
成果指標名	年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度目標値	
	目標値(A)	5	3	3	3	
	実績値(B)	5	3	3	3	到達目標値
達成率(B/A)		100.00%	100.00%	100.00%		
成果指標設定の考え方・式や説明						
要望実施箇所数(B)/要望箇所数(A)						

事務事業の評価		該当する項目を から へ く 「コピー」して「貼り付け」してください		Check	
妥当性の評価	市の関与の妥当性	市が実施するよう法令で義務づけられている 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない 事業の内容が一部の受益者に偏っている 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である 事業開始当初の目的から変化してきている 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある	市民ニーズ	市民・団体等から要望・要請が強い	妥当性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い い B
	効率性の評価	コスト	単当たりコストは前年度と比較して改善している 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい 受益者負担率は適正である 受益者負担率を見直す余地がある サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	目的達成度	成果指標の設定は適切である 成果指標の到達目標値は達成できそうである 成果指標達成率は前年度と比較して向上している 成果指標達成率は80%未満となっている 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない 法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している
有効性の評価	市民参画度			有効性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い い C	

進行年度(H24年度)の改革改善内容							
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
説明		本年度においても整備実現のため引き続き実施していく。					

総合評価		総合評価
国道2号の慢性的な渋滞の解除等道路改良について早急な整備は期待できないが、局所的な整備要望により成果に結びついた。		A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い い C

平成25年度の方向性・取組目標							
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止	廃止・完了
取組目標		次年度以降も引き続き行う必要がある。					

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業の目的やその数値目標を評価しな

Check

Action